

水道事業の「技術継承」に向けた人材育成と技術承継

ご提案内容

都の所有施設を使用した実践的な訓練



東京都水道局では

東京都の多摩地区では、かつて市町が水道事業を運営していたため、東京都が水道事業を運営する現在でも、市町営時代に整備された、小規模の水道施設や井戸が点在しています。

そこで、こうした施設や井戸を使用し、空気弁の設置や撤去、井戸水源の立ち上げや排水作業、バルブ操作などの訓練や、給水車を使用した給水訓練など、実践的な訓練の実施をご提案致します。

また、当局が所有する研修施設を使った実技訓練も実施できます。

《訓練例》



空気弁操作



バルブ操作



給水活動

【内容】

水道事業者にとって、「人材育成」と「技術承継」は避けて通れません。

【課題】

- ・職種ごとの専門化、高度化、分化が進み、担当や部署を超えた技術吸収に障害
- ・模擬施設での訓練やシミュレーターや図上訓練では、現場感覚の醸成や技術力の維持向上、ノウハウ（暗黙知）の継承に限界

【必要とされているのは】

- ・水源、管路、設備など多種多様な維持管理の知識・技術を継承
- ・事故時の臨機応変な対応力

東京都水道局は、都の所有施設を使用した現場実態に即した実践的な訓練をお勧めします。



音聴棒を使った漏水調査



排水作業

【支援方法】

【研修内容】（過去の実施例）

東京都水道局の研修・開発センターの実技フィールドにてバルブ操作・漏水修理の実技訓練を実施

《メニュー例》

- ・バルブ操作手順の説明・実作業
- ・断水や洗管時のバルブ開閉の説明・実作業
- ・相関式機器による漏水位置特定
- ・配水管漏水修理

【研修時間】 半日程度



バルブ構造の説明



木栓を使った漏水修理



御要望に沿った内容で実施いたします。まずはご相談ください。

（問い合わせ先）

首都圏水道事業者支援プラットフォーム事務局

東京都水道局多摩水道改革推進本部調整部 経営改善課国内貢献施策推進担当

TEL：042-548-5361 FAX：042-521-5141

メール：tamasuidou@waterworks.metro.tokyo.jp